

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□3節□1項	保健センターの建設
担当課・係名	健康 課 保健予防 係【問合せ・質問等の先(内線番号) 581 番】			

業務の名称	保健センター管理業務						
(1) 根拠法令・条例	保健センター条例						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>4.5</u> % (系の総業務量を100%とする) 職員延人数：88.7人・日 (臨時雇用者延人数：0人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>8,356</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0</u> % (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	平成12年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)							
①□業務目的(達成目標)	住民の健康の保持、増進を目的とした保健事業を実施する拠点とし、保健センターを位置づけ、管理する。						
②業務が対象とする住民(地域、層)	町民						
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	保健センター施設内の維持管理、保守点検業務等を実施しており、清掃、浄化槽保守点検電気保安業務、受水槽清掃、警備管理、害虫駆除、消防設備保守点検、空調設備保守、自動扉保守点検、床暖房保守点検業務等については、業者委託にて実施。						
④業務の実施結果(平成19年度実績)	上記③の保健センター管理業務を滞ることなく、実施した。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1	保健センター年間利用者数	13,004	13,575	14,073	14,500	15,000	
2							
3							
4							
5							
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	保健センターは、平成12年度に完成し、各種健康診査、相談、保健指導等の保健事業を実施している。保健センター管理業務を行い、保健事業が円滑に実施できた。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
		成果の説明指標	17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1							
2							
3							
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

保健センターの竣工から7年が経過しており、修繕箇所が出てきている。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

保健事業を円滑に実施するため、平成17 温水器部品取換、エレベーター一部品取り換え等、平成18年度、19年度は、浄化槽蓋、浄化槽修繕を行った。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4 点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.2 点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">① 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	竣工からの年数が経過し、修繕はあるが、今後も保健事業の拠点とする。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

修繕箇所は迅速に対応し、保健事業が円滑に実施できることを目標とする。

